

介護保険事業計画(第8期)

介護保険事業計画については、認知症対策や介護予防、生きがいづくりに重きを置き、町民の皆さまが求めている新たなサービスを構築するとともに、不足している介護人材の確保を進める計画としています。

①認知症対策の推進

認知症についての正しい理解の促進や認知症の予防、認知症初期集中支援チームによる早期発見、早期対応に向けた支援体制の整備、また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域での見守り体制の構築を進めるとともに、認知症地域支援推進員が中心となり相談支援体制の充実を図ります。

②介護予防の推進

高齢者が心身ともに健康で自立した生活を継続でき、また介護が必要な状態になってもその状態の維持・改善が図られ住み慣れた地域で過ごせるように、まる元運動教室など介護予防事業を進めます。

③生きがいづくりと社会参加の推進

高齢者が地域でふれあい、生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるため、老人クラブや各種サークル活動、サロン活動など高齢者の自主活動を支援するとともに、働く機会の創出や社会的貢献活動を推進します。

④介護保険サービスの推進

介護が必要になった時に、必要な介護サービスを受けられるように介護サービスの提供体制を確保するとともに、不足している介護人材の確保を図っていきます。

⑤介護予防・日常生活支援総合事業の推進

ボランティアなど多様な担い手による新たなサービスの検討・構築を行い、高齢者の方の自立した生活を支える体制整備を進めます。

障がい福祉計画(第6期)

障がいのある人が抱えている課題は多様です。様々な制度やサービスをその人に合った形で総合的に提供できるように相談支援体制の整備とライフサイクルに応じた切れ目のない支援を継続します。

①地域生活の支援体制の充実

障がいのある人が安心して地域で暮らせるよう、相談支援体制の充実を図ります。

②自立と社会参加の促進

子育てサポートブック等の活用により切れ目のない支援を図ります。また、経済的な基盤となるだけでなく、社会とのつながりを構築し、自己実現を図ることが出来るよう、町内の就労継続支援事業所の支援や一般就労に向けた相談支援体制の整備などにより、障がいのある人の多様な働き方を支援していきます。

③バリアフリー社会の実現

住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることが出来るよう、グループホームや見守りの機能を備えた住宅の整備を進めます。

地域包括支援センター運営協議会委員の募集

介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、さまざまな相談の窓口、地域での介護予防を推進する機関として「地域包括支援センター」を設置しております。

運営協議会は、このセンターの適切な運営や公正・中立性の確保を図るために利用者や被保険者、介護保険事業者、福祉団体等の方にご参加いただき、地域の支援のあり方など必要な事項を調査、審議していただくものです。

- ◆任期 … 3年
- ◆委員会の開催 … 年に1～2回程度
- ◆応募資格 … 上士幌町在住の介護保険被保険者(40歳以上の方)
- ◆公募人員 … 若干名
- ◆応募方法 … 保健福祉課介護保険担当窓口へお申し込みください
- ◆応募期限 … 令和3年5月21日(金)



※お問い合わせは、保健福祉課介護保険担当(☎2-4296)まで

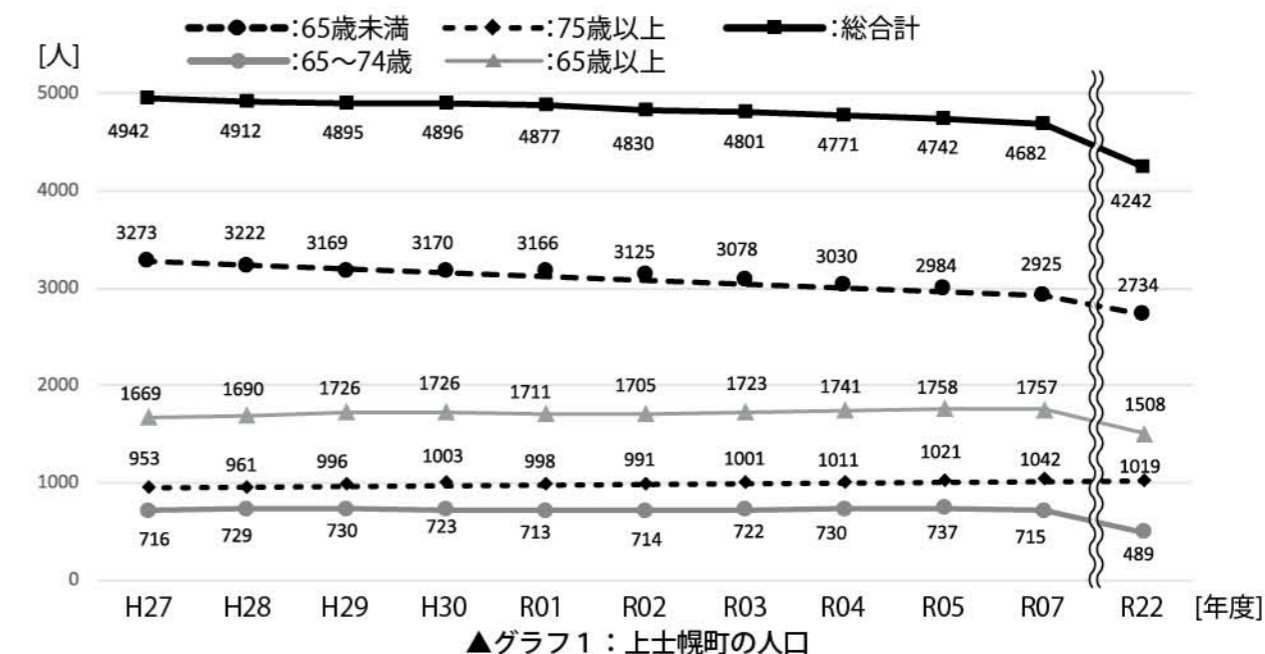
令和3～5年度 上士幌町三愛計画

上士幌町三愛計画(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・障がい福祉計画)は、3年に1度の国の制度改正に合わせて、計画の評価・見直しを行っています。この度、令和3年度から令和5年度までの三愛計画を策定いたしましたので、ご報告いたします。計画の詳細は、町ホームページや保健福祉課、ふれあいプラザ、わかにて閲覧できます。

各計画では、町の人口推計や要介護認定率を基本に策定しています

①本町の高齢者人口(65歳以上人口)について

本町の人口は、高齢者人口が約1,700人で全体の35%を超えており、3人に1人以上は65歳以上の方となっています。その中でも75歳以上の方は、およそ1,000人に達している状況です。



②要介護認定者数

高齢者人口の増加に伴い介護認定を受ける方も増加しています。認定者の傾向としては、要介護2から要介護5までの中重度者が増加していることが特徴となっています。

また、新規の要介護認定理由は、筋・骨格系疾患、認知症、がんの順に高くなっています。

